

## 学術論文作成法（一）（2単位）

担当者氏名 美土路 知之・笹木 潤・松村 広志

### ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

社会科学は社会事象（事件や現象）に対して〔説明・解釈・批判〕を加え、人間社会の過去から現在、将来にわたる態様や変革のための論理や法則について解明する課題をもっている。それは社会運動や、個別的な興味関心からだけではなく、学術や科学研究の手法を駆使しながら、人間社会やそれを取り巻いている環境に対して有用な知見や指針を与える任務も負っている。その社会的意義と研究推進の手順について基本的な理解と研究姿勢を獲得する（自立的研究者への成長）ことが目標である。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

社会認識	批判的精神	構造と発展段階	社会調査
データ収集	文献サーベイ	統計処理	データ分析

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
	社会科学の対象と学術研究の方法（第1-2週） （美土路知之）	社会科学の対象とする「社会」観や「世界」観についての基本視座を講述する。	◎社会科学の古典といわれている書物は最低でも1点は通読して、先人の問題意識や研究手法に触れておくことを進める（参考図書については第1回講義の折に提示する）。
	問題意識を明確化するために（第4-6週） （美土路知之）	オリジナルな研究テーマの脈を探り当てるための手順について講述する。	◎図書館情報やインターネットなどの検索エンジン、学術図書の検索エンジンなどの操作には接しておくこと。
	研究課題の設定と文献サーベイの主要(第7-10週)（松村 広志）	当該分野における先行研究を渉猟する文献のサーベイのプロセスや技法について講述する。	◎エクセルの基本的な使い方（データを加工・整理する方法）は修得しておくこと。
	分析を行う上で必要なデータ収集方法について（第11-12週）（笹木潤）	データ収集方法、利用方法や利用する時の注意について講述する。	
	データを使った分析方法と手段について(第13-15週)（笹木潤）	データの加工方法や統計ソフトの使いかた、そして結果の解釈について講述する。	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

基本文献を紹介し、講義のつど資料を配付する。

### ◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

『論文作成ガイドブック』／片岡信之他／文真堂（2004年）

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

全体を通じたレポートを課し、その総合点により評価する。

### ◆オフィスアワー

水曜日5限

### ◆その他受講上の注意事項

单元ごとに必読文献を指示するので、必ず独習して講義に臨むよう心がけて欲しい。